

# 天草家保通信平成28年12月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3  
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393  
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



## 青森県及び新潟県の家さん農場で 高病原性鳥インフルエンザ発生！！

疑似患畜確定日	発生県	飼養規模	備考
11月28日	青森県	あひる(フランス鴨) 約16,500羽	高病原性(H5N6)
11月28日	新潟県	採卵鶏 約310,000羽	高病原性(H5N6)
11月30日	新潟県	採卵鶏 約230,000羽	高病原性(H5N6)
12月2日	青森県	あひる(フランス鴨) 約4800羽	高病原性(H5N6)

上の表で示すとおり、平成28年11月28日(月)以降、青森県及び新潟県の各県2農場で高病原性鳥インフルエンザ(以下「HPAI」)の発生が確認され、防疫措置が完了しました。また、4例全てで検出されたウイルスは、いずれもH5N6亜型でした。

一方、環境省による野鳥のモニタリングでは、平成28年11月15日以降、国内各地の死亡野鳥などからHPAIウイルス遺伝子検査陽性が確認されており、その数51件(12/7現在、9件は確定検査中)です。そのうち24件は鹿児島県出水市で確認されており、渡り鳥のルートを考慮すると、本県にも既にHPAIウイルスを保有する野鳥が飛来している可能性が高い状況です。また、野鳥から確認されたウイルスは、国内家さん農場の発生事例と同様、全てH5N6亜型であり、ウイルスの伝播に野鳥の関与が強く疑われます。このような状況から、農場へのHPAIウイルスの侵入が危惧されます。

畜産関係者の皆様におかれましては、適宜情報収集に努め、養鶏農家における飼養衛生管理基準遵守の再徹底や消毒等を含めた本病の侵入防止対策(次ページに記載)を再徹底し、死亡羽数の増加等HPAIを疑う症状が認められた際は、遅滞なく家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。

高病原性鳥インフルエンザの症状



急死

(H16 京都府提供)

嗜眠・沈鬱

(H16 山口県提供)



毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



# HPAIの侵入防止対策

下記の対策について、養鶏農家に再確認・再点検をお願いしています。

- 野鳥、ねずみなどの野生動物対策**:以下の点を点検し、十分でない場合は修繕などを行い、小型野生動物の家きん舎侵入防止に努めること
  - ・防鳥ネットなどの設置、破損の有無
  - ・家きん舎の壁面の破損の有無
  - ・家きん舎の屋根と壁の隙間など
- 家きん舎に入る際、衣服や靴の交換や十分な消毒**をすること。
- 家きん舎が、池などの野鳥生息地の近くにある・野生動物の生息しやすい環境にある場合には、上記対策を定期的に点検・確認**すること。
- これまで以上に念入りに、飼養家きんの毎日の健康観察を行うこと。

## 平成28年度天草地域家畜伝染病防疫演習の開催！

11月9日(水)、天草市民センター体育館において、**広域本部職員、市町職員、団体職員、警察官及び建設業協会**等を対象に**平成28年度天草地域家畜伝染病防疫演習**を開催しました。

2部構成で行い、1部では家畜保健衛生所から**鳥インフルエンザ及び防疫措置の概要**について、広域本部農業普及・振興課から**支援対策本部の役割**について、天草市農業振興課から**市の防疫対応**について、説明しました。2部では天草保健所の説明のもと、**支援センター及び現場事務所での防疫従事者の動線確認や健康観察、防疫服の着衣・脱衣**を実地演習しました。

万が一、本病が発生した際には迅速な防疫作業が必要となりますので、平時からこのような防疫演習や連絡会議等で各機関の役割及び協力体制を確認し、発生に備えていく所存です。

防疫服の着衣の様子



## 海外悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国 江西省	11月15日	豚	O型
	中国 新疆ウイグル自治区	11月22日	牛	O型
	ロシア	11月22日	牛	O型
高病原性鳥インフルエンザ	韓国	11月16日～27日	家きん	H5N6

11月30日現在

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。  
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668